

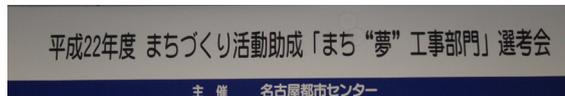
平成22年度「まち“夢”工事部門」選考会の様子

■日時 平成22年7月11日(日)10時～14時30分
■会場 名古屋都市センター・ホール(金山南ビル11階)



9:30 受付開始

発表団体関係者 26 名、一般参加者 5 名の参加がありました。今年は、申請団体が 6 団体と昨年度の 2 倍の申請がありました。応募団体の皆さんには 9 時半に集合していただきました。事務局からプレゼンテーションの進め方の説明があり、各団体ともスタンバイOKです。今回が初めてのプレゼンという団体もあり、少し緊張気味でした。



受付



プレゼンテーションの説明

10:00 開会

名古屋都市センターまちづくり相談幹の司会で、選考会が開会しました。はじめに、名古屋都市センター事業部長からあいさつがありました。



名古屋都市センターまちづくり相談幹



名古屋都市センター事業部長あいさつ

本日は、まちづくり活動助成の「まち“夢”工事部門」の応募のありました6団体につきまして、公開審査による選考を行います。活発な皆さんの提案と質疑で、選考会を盛り上げていただきたいと、お願いをしまして私の挨拶とさせていただきます。

まちづくり基金運用委員会の委員(7名)を紹介

選考会に当たっては、事前に申請書を熟読の上、臨みました。



10:05 応募団体による発表・質疑応答

各団体 5 分の持ち時間で、申請書の提案内容について、発表していただいた後、まちづくり基金運用委員との質疑応答を行いました。

タイムキーパーは、発表に際しては時間表示をして、公平な発表を心がけました。来場者にも提案内容をできるかぎり公表し、会場で資料を配布しました。

【会場で配布した資料】

- 当日のプログラム、選考方法説明資料
 - 各団体からの提案内容（申請者名、住所、事業費等除く）
- ※会場では、チラシ等の配布は禁止です。



プレゼンテーションする申請者(6団体)



プレゼンを受けて、質疑をする基金運用委員

11:30 休憩、委員による1次投票

1次投票は、最終的な選考ではなく、最終的な質疑を行うための参考資料とするために行いました。その上で、各団体からの提案を3段階で評価をしていただきました。

12:40 1次投票の結果公表、質疑

休憩終了後、1次投票結果を公表！
この表を見ながら、各委員が質問をしていきました。
基金運用委員から次々に質問が出されます。
応募団体の皆さんも熱い思いを語ります。

平成22年度 まちづくり活動助成「まち夢」工部門(第1次選考) 1次投票結果

No.	団体名称	1次投票結果		
		7点~8点	2点~6点	0点~1点
1	新町四丁目町内会	0	7	0
2	橋狭間町町内会	5	2	0
3	中川運河キャナルアート実行委員会	0	7	0
4	もりづくり会議	1	6	0
5	清須越400年事業ネットワーク	2	5	0
6	特定非営利活動法人 リエゾン・アカデミア	0	7	0



13:30 休憩、各委員による投票

再質疑を終えると、いよいよ皆さんの前で投票です。

各委員には、各団体の提案を、「選考にあたって重視する点」①～④の4項目すべてについて「2点」「1点」「0点」の3段階で評価をしていただきました。

<選考にあたって重視する点は以下のとおり>

.....提案内容の妥当性.....

①必要性

- ・公益性・公共性のある提案か
- ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする提案か
 - ・地域の身近な課題やニーズを的確に把握しているか
- ・特定の人だけが利用する施設ではなく、地域に貢献する施設か

②独創性

- ・地域資源などを活かした個性豊かな提案か
- ・創意工夫を凝らした提案か

③実現性

- ・活動計画が具体的になっているか
 - ・スケジュールは妥当か
- ・地域住民が参画して取り組んでいく予定はあるか

.....提案団体の能力.....

④活動実績と主体性

- ・提案内容につながる活動実績を有しているか
- ・自ら主体となって工事を行い、施設の維持管理をする意欲があるか

集計は、「選考にあたって重視する点」4項目の評価を点数化（2点、1点、0点）して委員の平均点を算出しました。

例えば、以下の〇〇〇団体の例では、委員7人の平均点は、7.0点となります。

<〇〇〇団体の計算例>

- | | | | |
|-----------|--------|--------|--------|
| ①必要性 | 「2点」5票 | 「1点」2票 | 「0点」0票 |
| ②独創性 | 「2点」6票 | 「1点」1票 | 「0点」0票 |
| ③実現性 | 「2点」6票 | 「1点」1票 | 「0点」0票 |
| ④活動実績と主体性 | 「2点」5票 | 「1点」1票 | 「0点」1票 |
- (「2点」×22票 + 「1点」×5票 + 「0点」×1票) ÷ 7人 = 7.0点

14:10 投票の結果公表、採用団体の発表

副委員長が助成団体を発表！

原則、各委員採点の平均点が6.4点（満10点の8割獲得）以上の団体を採用すると選考方法で発表していましたが、採点の結果今年度は6.4点以上を獲得した団体は、1団体でした。

最後に、委員長から講評がありました。



採択団体へは花がつけられ祝福されました

平成22年度 まちづくり活動助成「まち夢」工事部門（第1次選考）2次投票結果

No.	団体名称	委員の平均点 (0点満点)	選考にあたって重視する点を評価															
			計		必要性		独創性		実現性		活動実績と 主体性							
2点	1点	0点	2	1	0	2	1	0	2	1		0						
1	新町四丁目町内会	4.71	8	7	8	7	8	0	5	2	3	4	0	5	1	1		
2	橋狭間町内会	7.00	2	2	5	1	6	1	0	3	3	1	6	1	0	7	0	
3	中川運河キャナルアート実行委員会	5.14	9	18	1	2	5	0	5	2	0	1	6	0	1	5	1	
4	もりづくり会議	5.71	1	2	1	6	0	6	1	0	2	5	0	3	4	0	1	6
5	清須越400年事業ネットワーク	5.86	1	3	1	4	0	3	4	0	3	4	0	1	6	0	6	1
6	特定非営利活動法人 リエゾン・アカデミア	4.00	3	2	2	3	2	4	1	0	6	1	0	6	1	1	6	0



講評する福島委員長

【選考会の講評】

今年度は6団体の応募があり、昨年度に比べると倍の応募をいただき、基金運用委員会として嬉しく思っています。また、ソフト部門も含めて、まちづくり活動助成の応募が増えてきたことは、市民によるまちづくり活動のバロメータの1つかと思います。

今回の応募では、町内会によるコミュニティ拠点の整備を提案したのが2団体、城山八幡宮の鎮守の森や中川運河といった名古屋市内の地域資源を活用した提案が2団体、清須越400年という歴史的な経緯を活かした活動を提案したのが1団体、様々な悩みを抱えた方が絆を作るため、その居場所づくりを提案したのが1団体ありました。それぞれに意義のある活動で、皆様の意欲というものを十分に評価しております。

まちづくり活動助成の基金は、市民や企業などからの寄付金ということもあり、質問の中には厳しいものもあったかと思えます。それは、皆さんの活動を評価していないということではなく、より積極的に理解していきたいという思いからです。まち夢工事部門は、ハード事業であるため、提案の実現性や熟度といったことが重要なキーポイントであると考えています。選考にあたっては、アウトプットとしてどういったハードができるかだけでなく、まちづくりへの効果やアプローチの妥当性といった観点も重要だと考えています。

本日の第1次選考会は、ハード事業の準備に対する審査ですが、ハード整備を前提とした審査なので、その内容についてはかなり確定的なものになっている必要があると考えています。これから地域に入り、そこで住民意見を聞いてから内容を詰めていくといったことも必要ですが、本日の第1次選考会で提案するもっと前の段階で、内容を詰めておかないと、まちづくりへの効果がなかなか見えてきません。

本当ならば、私たちがみなさんの思いを深く受け止めて、みなさんの活動を応援したいという気持ちがあります。しかし、予算の限度から、2次選考会も通過するという前提で考えると、採用数は最大で3団体程度だと想定していました。今回、次点以下の団体の採用も検討しましたが、「熟度」という観点からもう少し検討を重ね、再チャレンジしてもらうことも必要ではないかと考えました。今回で、予算を全て使い切るのではなく、来年度もまちづくり活動助成まち夢工事部門を実施し、私たちがまちづくりの成果というものを確信できる提案に助成していくべきではないかと、考えた次第です。

今回選ばれた桶狭間町内会のトイレ・台所を作るという提案は、私たちが想定していたアイデアとは少し違ったものでした。ただ、年間 25,000 人が使われるということ、この施設が町内会の中で代々維持されてきていること、ただ単にコミセンに置き換えればよいというものではなく、地域の人たちの重要な場所になっているということが高く評価したわけです。トイレ・台所がきちんと整備されることによって、より多くの人たちに使われ愛されていく、そこに確実なるまちづくりの成果が出てくると評価しました。今後、計画を精査してもらい、第 2 次審査に向けて頑張ってもらえればと思います。

そして、残念ながら不採用となった 5 団体につきましては、提案の熟度の問題、自分達のまちづくりのために効果的なアプローチであるかどうかといったことを、地域の方々、専門家の方々とも再度詰めていただき、もう一度応募していただければと思います。

今日は、長い間ありがとうございました。今日のこの機会を、みなさんにとって学びの場となったり、交流の機会となったり、非常に良いと思います。

14:30 閉会

会場でのアンケート結果では、ほとんどの方が「公開を続けて欲しい」と回答されました。選考会についての意見・感想では、

- ・ 様々な活動主体があり、色々な視点からの“まちづくり”があると勉強になった。
- ・ 質疑応答を通して、今後どういう点に焦点をあてて情報あつめ、熟度UPしたらよいかわかりました。
- ・ 各団体からの発表時間、時間数が少ないことも考えられるがタイムオーバーは厳格に運用した方が良い。

などの意見が出されました。

来年度以降も、皆さんの意見をお聞ききして改良してがら、より良い選考会にしていきたいと考えています。